

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県評価報告書

都道府県名 岩手県

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																スマート農業推進枠	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考												
					現状				目標				実績				導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度	目標年度																							
					年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積	生産量又は出荷量	価格(販売単価)	生産コスト	年度	面積				生産量又は出荷量		価格(販売単価)	生産コスト																			
盛岡市農業再生協議会 紫波町農業再生協議会 矢巾農業再生協議会	1	盛岡市(玉山地域除く)、紫波町、矢巾町	地域振興作物(ズッキーニ)	ほ場準備作業の機械化を図り、番薯の高い8月下旬～9月の出荷量を増大させることで10aあたりの販売額6%以上の増加を実現する。	R1	363,632円/10a	32.11 ha	357,881 kg	326.3 円		R4	386,315円/10a	35.12 ha	399,068 kg	340 円		R4	205,060円/10a	29.2 ha	190,010 kg	316 円			378 kg/円	387 kg/円	0.977	199,874円/10a	J A等の販売伝票等により販売額を検証する。	-721.9%	前年の販売単価安から春の作付けに慎重だったことに加え、夏季の天候の影響を受け、生育不良、病害発生等により減収し、目標に届かなかった。課題として整理された排水対策、受粉対策等技術面についての対策を講じ、単収増加に繋げるとともに、現地実地検討会等で面積拡大の呼びかける等関係機関と連携して支援を行っていく。	R5評価											
花巻市農業推進協議会	9	花巻市大迫地域	ぶどう	ワイン特区を活用した果樹(ぶどう)産地の形成 ① 醸造用ぶどう原料の出荷から6次加工への転換による所得向上への取組 ② ワイン特区を活用した小規模ワイナリーの新規参入者確保によるぶどう産地の活性化への取組	R1	7,140千円	1.46 ha	3,018 ㎏	2,366 円/㎏		R4	12,486千円	1.46 ha	4,745 ㎏	2,631 円/㎏		R4	6011千円	1.46 ha	※2861 ㎏	2,801 円/㎏							販売伝票等により確認	-21.1%	醸造施設を整備し、自家醸造が可能となったことでブランド化が図られ販売単価は向上している。新型コロナウイルスによる規制が緩和されたことから需要の回復による販売額の向上が見込まれる。一方で、原料生産に関して、ここ数年間は地域全体として不作(花ぶるいの疑い)が続いている。現時点において原因は明確となっていないため、今後も関係機関と連携し、原因分析を引き続き行うとともに、急激な気温の変化を防ぐための樹上へのビニール張りを行う等の対策の検討を行っていく。	R5評価 ※契約取引のため価格補正無し											
北上市農業再生協議会	2	北上市	施設野菜(ピーマン、トマト、ミニトマト、きゅうり、アスパラガス、リーフレタス、いちご、その他野菜)	【施設野菜産地の形成の推進】 ①パイプハウス等の施設導入による規模拡大の取組 ②加温設備等の導入による周年・計画生産の取組 ③細露加湿システムや自動灌水装置等の栽培管理設備の導入による高品質・安定生産の取組	H30	総販売額の10%以上の増加(22.8%増加)	4.26 ha	(270,395) kg	(493) 494 円/kg		R4	(148,245千円) 5.59 ha	(328,144) 372,984 kg	(452) 443 円/kg		R4	129,213千円 5.87ha	375,839 kg	344円/kg									ピーマン 454円 トマト 338円 ミニトマト 626円 きゅうり 320円 アスパラガス 1,131円 リーフレタス 179円 いちご 1,219円	ピーマン 446円 トマト 356円 ミニトマト 620円 きゅうり 291円 アスパラガス 1,160円 リーフレタス 179円 いちご 1,330円	126,087千円	32,647千円 58,589千円	9,524千円	3,591千円	2,488千円	6,500千円	7,848千円	4,900千円	取組主体等の販売伝票やJ Aの出荷実績等により確認	-28.0%	ピーマンについては順調に面積拡大しており、生産者の技術も向上して落ち販売額の目標を達成した。 トマトについては、高齢化に伴う生産者が減ったこと、天候不順による病害や障害発生により目標未達となった。きゅうりについては、栽培面積が拡大したことにより目標達成となった。アスパラガスについては、栽培技術の向上により出荷量が増加により目標未達となった。リーフレタスについては、病害の発生により出荷量が減少したため目標未達となった。対策として、殺菌剤の導入、選別対策を行い改善を図る。 いちごについては、病害によりハウスの傾斜があったことから面積が減少し、収穫は困難な状態。作付け者の掘り起こし、市単補助の活用を促すなど作付面積の拡大に向け支援を行っていく。 目標を達成した品目については、引き続き栽培技術向上の支援を行っていく。 目標未達の品目については、天候不順による病害の発生が収量の減少の要因と考えられるので過期作業の徹底を生産者に周知し、収量の確保を目標として目標達成が見込まれる。 また、生産者確保のために、就業相談を実施し、生産面積、収量の維持、拡大に向け活動を行っていく。	R5評価 ※その他作物については契約出荷のため価格補正なし	

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		スマート農業推進枠												地域(県又は国を含む) の価格(販売単価)	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証が できること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県等の評価	備考							
					年度	現状				目標				実績				年度								導入・定着の取組の 実施内容	事業実施 前年度	目標年度	修正係数	価格補正 後の実績		
						面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位															
奥州市 農業再 生協議 会	3	岩手県 奥州市 江刺	露地野 菜 (ねぎ)	①機械化体系の導入により、栽培管理・調整作業の省力化を図り、栽培面積拡大を図る。 ②生産拡大、安定出荷に向け、江刺地域に適した品種の選定、排水対策の実施、栽培方法の普及・徹底を図る。 ③全農買取販売方式により、生産者の経営の安定化を図る。	販売額の10%以上の増加(単位面積当たり) (29.1%の増額)	令和1年度	434千円/10a	5.6 ha	80.6 t	299.9 円/kg	—	令和4年度	560千円/10a	10.1 ha	202.4 t	280.0 円/kg	—	令和4年度	270千円/10a	9.25 ha	80.3 t	311 円/kg	—	303 円/kg	343 円/kg	0.883	238千円/10a	販売実績により、検証・評価を行う	-155.6%	昨年度より面積拡大・出荷量は増加したが、排水不良の田区での収量が伸びず、いずれも目標達成とはならなかった。引き続き、目標達成に向け、取組主体を中心に、次の①～⑥の進捗管理を行っていく。 ①機械化体系の導入による栽培管理・調整作業の省力化による栽培面積の拡大 ②効果的な排水に向けた明渠と補助暗渠の施工、また規模拡大の際には排水性、作業性の良いほ場を選定、排水が改善しない農地については、新たにほ場を移す。 ③周期的に変化する気象を予測した栽培管理指導 ④病害虫発生予測による生産者への発生予測情報の提供と具体的な対策指導 ⑤栽培指導会を定期的に開催し栽培管理の情報を発信 ⑥江刺地域農業産地協議会による反方向上対策への取組支援	昨年度と比較し出荷量は増加したが排水不良の影響を受け目標達成に至らなかった。 次年度の目標達成に向けて、整理した課題(面積拡大、排水対策、管理技術、防除等)解決へむけ、市では進捗管理及び面積拡大に向けた関係者との調整、県においては普及センターの農家個別巡回、栽培支援(排水対策・管理技術・防除等)及び経営アドバイザーを実施する等関係機関が一丸となって取り組む。	R5評価
奥州市 農業再 生協議 会・金 ヶ崎町 農業再 生協議 会	1	奥州 市・金 ヶ崎町	ピーマ ン	①計画的な施設導入及び露地ピーマンのトンネル栽培の普及を進め、長期安定出荷と単位面積当たりの収量量の確保を図る。 ②担い手確保に向け、地域内の遊休畑地の有効活用による施設園芸団地を形成し、リース事業を展開し、意欲的に取り組む担い手の確保を図る。 ③さらなるピーマンのブランド化に向け、栽培課題に向けた栽培方法の普及・徹底。	総販売額の10%以上の増加(10.3%増)	H27～R1の5年中3か年平均	562,548千円	35 ha	1,367 t	412.0 円/kg	—	R4	620,491千円	38.8 ha	1551.2 t	400 円/kg	—	R4	559,581千円	41.6 ha	1526.2 t	367 円/kg	—	468 円/kg	480 円/kg	0.975	544,853千円	(1)現状値 1367.0t (2)目標値 目標販売数量 :1551.2t 目標販売単価(平均) :400円/kg 算出方法:目標販売数量×目標販売単価 (3)検証方法 販売実績により、検証・評価を行う。	取組主体は、目標達成に向け計画に即した進捗で取組を行うことができたが、夏季の日照不足の影響により収量が伸び悩んだことに加え、出荷時期の市場価格が平年より低調なまま推移したことにより単価が上昇せず、目標未達となった。 安定的に出荷できるよう、日照不足時は整枝選定による通風・採光の確保し適切な圃場環境の維持、また薬剤の予防散布による病害虫の発生抑制について現地で指導するとともに、その進捗を管理を行う。	夏季の日照不足の影響を受け生育不良となり収量が伸び悩んだこと、平年より市場価格が低調に推移し単価が上昇しなかったことから、目標未達となった。今後も地域協議会と連携して、単収の安定化や担い手の継続的な確保に向け、関係機関(市・振興局・普及・JA)で構成されたサポートチームによる巡回指導や、JAによる栽培指導会(整枝管理や病害虫防除等の基本技術徹底を指導)及び実績検討会の開催、振興局主催による技術研修会の開催等の取組で支援していく。	R5評価	